

第30回日本がん分子標的治療学会学術集会
参加者各位



第30回日本がん分子標的治療学会学術集会の開催に当たり、御来広の皆様を心より歓迎いたしますとともに、一言御挨拶申し上げます。

御存じのとおり、広島は平和の地として世界的な知名度があります。世界遺産の原爆ドームがある平和記念公園には、世界中から多くの人々が訪れ、原爆死没者慰霊碑や原爆の子の像に捧げられる花や折り鶴は、絶えることはありません。2023年5月には、G7広島サミットが本市で開催され、世界の政治や経済をリードする各国の首脳や政府関係者、国内外のメディアなど多くの方々が広島を訪れました。世界中から注目が集まっているこの広島で貴学会が開催されますことは、開催成果の情報発信の面等で非常に強いインパクトになると考えます。

本市は、約400年前から城下町として栄え、西日本における産業、経済、行政の中核都市の一つとして発展してきました。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、市内には6本の川が流れています。遊覧船やオープンカフェから眺める川辺の風景は、四季折々に変化し、「水の都ひろしま」と呼ばれる水辺をいかした美しい景観は、市民や観光客を楽しませてくれます。

御滞在中、皆様には、是非とも広島の自然や街並み、食文化、地域に伝わる伝統芸能などに触れ、広島ならではの「おもてなし」を堪能していただきたいと思っております。また、平和記念資料館や原爆ドームを御覧いただくとともに、原爆死没者慰霊碑に参拝していただき、過去の悲しみに耐え、憎しみを乗り越えて、全人類の共存と繁栄を願う「ヒロシマの心」をしっかりと受け止め、共感していただきたいと思っております。そして、広島に「また来てみたい」と感じていただければ幸いです。

終わりに、第30回日本がん分子標的治療学会学術集会の御成功及び皆様のますますの御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和8年（2026年）6月30日